

自己点検・自己評価報告書

(令和6年度)

令和7年4月報告

名古屋理容美容専門学校

名古屋理容美容専門学校教育理念

「高い志を持ち、社会貢献を喜びとする人を育てる」

名古屋理容美容専門学校学則

第1章 総則

(目的)

第 3 条 本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、理容師及び美容師となるのに必要な知識及び技能を修得させるとともに、その品性を磨き独立能力のある新時代の理容師及び美容師を養成することを目的とする。

目 次

評価項目の達成及び取組状況

自己点検及び評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 就学成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献、地域貢献
- (11) 国際交流

評価基準の設定

評価基準

(適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	評 価
理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4
学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

現 状

- ・本校の理念・目的・育成人材像等は、入学者・保護者説明会時に「学生便覧」を学生全員と保護者に配布し、周知を図っている。
- ・入学当初より目標を持って入学してくる学生も多いが、少数ではあるがなんとなく理・美容分野が好きという観点で入学する学生いるため、学校での目標に留まらず、将来の自分の姿を想像し、理・美容業界で働くことが楽しみになるように授業、行事の両面から学生をサポートする必要がある。

課題・今後の改善方策

- ・2年間の教育の流れを点ではなく繋がりを持たせ、向上心や意欲が途切れないようサポートしていく。
- ・校内での先輩、後輩の身近な存在から目標を立てる、モチベーションを上げるなどの機会も設けていきたい。

(2) 学校運営

評 価 項 目	評 価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	4
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

現 状

- ・毎年、就業規則は労使間で協議し、労働基準監督署に届け出ている。
- ・勤怠管理システムを取り入れることにより、勤怠管理業務にかかる時間を大幅に短縮でき、担当者の負担削減につながった。
- ・アプリの連絡網サービスを活用し、学校からの緊急連絡やお便りを直接保護者へメール配信でき、印刷や配布の手間を削減した。学生欠席連絡等にも活用している。

課題・今後の改善方策

- ・情報システム化をすすめることで一方的な情報伝達にならないよう、方針や方向性など思いや考えを伝える場として運営していくことが課題である。

(3) 教育活動

評 価 項 目	評 価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

現 状

- ・教育到達レベルや学習時間は明確に年間カリキュラムに記載している。
- ・職業講話の授業では、産学連携の一環として、後援会サロンを招いて、講話及びデモンストレーションの授業をうけている。学生のモチベーションアップにつながった。
- ・学生のモチベーションアップにつながる現場の「リアル」な話を聞ける機会を設け、あわせて教員も講話により今の現場の声を知り知見と見識を深める。

課題・今後の改善方策

- ・卒業生との交流の場で、本校での学びや資格がどのように活かされているかを知り、業界ではたらくイメージを養う。

(4) 学修成果

評 価 項 目	評 価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

現 状

- ・本校週末サロンワークシステムを活用し、就職先を選ぶ学生がほとんどのため、離職率低減につながっている。
- ・個別指導、就職支援システム、校内外の説明会等により就職指導を徹底し、支援を行うことにより就職希望者の就職率は100%となっている。
- ・学校に遅刻や欠席をし周囲とうまくコミュニケーションがとれるか不安になる学生に対して早期発見が出来ないと退学に繋がることもあるため、学生とのコミュニケーションを大切にしている。

課題・今後の改善方策

- ・卒業後のキャリア形成については、いつでも容易に学べる学習環境と援助体制の整備が課題となっている。

(5) 学生支援

評 価 項 目	評 価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

現 状

- ・学生の目標とする就職ができるよう、1年次の5月から企業と接する機会を設けている。
- ・学生の生活環境への支援については、学生の履修指導や就職支援、経済的支援から日常生活の悩みなどあらゆる相談に応じている。
- ・就職説明会及び保護者会を実施し就活および学校生活の近況報告を実施している。
- ・成績不良の学生は再試験や単位が不足している学生には補習を行い卒業ができる体制を取っている。
- ・愛知県内の高等学校を中心に、職業講話や模擬授業を行っている。高校からも依頼があり、相互に職業実践的な取り組みを行っている。

課題・今後の改善方策

- ・希望企業での内定をもらえるよう、動き出しの遅い学生には選び方を理解することでスムーズな就職活動が出来るようサポート体制をととのえる。

(6) 教育環境

評 価 項 目	評 価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

現 状

- ・後援会サロンとの連携によりインターンシップを実施している。
- ・教職員と学生は災害等に備えて防災訓練を計画的に実施している。
- ・「帰宅支援グッズ」を校内で管理している。
- ・毎年、防災計画書を作成し建物の管理、避難訓練、学生・職員に対する防災教育の実施及び指導を行っている

課題・今後の改善方策

- ・海外研修については社会情勢を踏まえた上で、多方面の学びの環境を整えるという観点から考えていく。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	評 価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

現 状

- ・理容学科 入学希望者が微増し、1理容師の魅力が浸透しているように感じる。
- ・教育成果は学校案内パンフレット、ホームページ、SNSを通じて正確に伝えている。
- ・学校パンフレット、募集要項、学校ホームページ等において資格取得状況・就職状況、学生納付金について情報提供を行っている。
- ・入学前の辞退者については入学金を除き受け取っていない。

課題・今後の改善方策

- ・定員充足の面で課題があるため、理容学科、美容学科、W取得の魅力をSNSで発信し、学生募集をする。

(8) 財務

評 価 項 目	項 目
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

現 状

- ・学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、いずれも理事会・評議員会で諮られ有効かつ妥当なものであると認められた上で執行している。
- ・財務情報公開をHPで公開している。

課題・今後の改善方策

- ・安定した財務基盤を整える。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	項 目
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

現 状

- ・学校教育法、専修学校設置基準等の関連法令に基づき学校法人化され、理容師・美容師養成施設指定規則等の関係法令を遵守している。
- ・個人情報保護については、個人情報の管理を徹底的に行い、情報漏えい防止に努めている。
- ・自己評価により明確となった改善すべき事案については、実現可能な事項から順次、改善のため取り組んでいる。

課題・今後の改善方策

- ・引き続き、関係法令を遵守する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評 価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

現 状

- ・キャリア教育推進事業を受け入れている。
- ・愛知県赤十字血液センターの献血を定期的に行う。
- ・学校としても地域の方に広く知って頂くため、また企業連携を深めより学生にとって学びとなり、地域にも貢献できるものを取り入れていく。

課題・今後の改善方策

- ・学校全体で取り組むように努め、地域社会に貢献できるよう積極的に参加する。

(11) 国際交流

- ・現在、実施していないので、自己評価の対象としない。